

福生市議会だより

FUSSA

No. 1 1 6

発行 福生市議会
 平成9年4月25日
 〒197 福生市本町5番地
 ☎0425(51)1511 (代表)

平成9年 第1回定例会

平成9年度各会計予算を可決

一般会計予算219億3千万円 対前年度比1.3%減

劣化ウラン弾意見書等を提出

平成九年第一回定例会が、三月五日から二十八日までの二十四日間の会期で行われました。今回の定例会では、市長の施政方針演説に続き、十五人の議員の一般質問が行われた後、「平成九年度一般会計予算」等の三十五議案、陳情二十五件の審議が行われました。

本会議の経過

第一日目(五日)は、市長の施政方針演説に続き、十五人の議員の一般質問が行われました。
 第二日目(六日)は、前日に引き続き八人の議員の一般質問が行われました。
 第三日目(七日)は、二人

の議員の一般質問が行われ、二十二議案と陳情十二件の審議が行われ、うち、一議案が可決されました。
 なお、二十一議案と陳情十件が各委員会に付託されました。また、「平成九年度一般会計予算」は十一日(第四日目)から十四日(第七日目)に本会議を開催して審議されました。

第八日目(二十八日)は、第七日目(十四日)に続く一般会計予算の審議と各委員会に審査を付託されていた二十一議案と陳情十七件の審査報告が行われ、新たに意見書十二件が追加され、議案はいずれも可決され、陳情は採択及び不採択とされました。この中で、「平成九年度福生市一般会計予算」等の三議案について

では、反対、賛成の討論が行われ、また、陳情十七件のうち一件については不採択となりました。
 その後、当日追加提出された「劣化ウラン弾使用事故に関する意見書」ほか十一議案を可決し、今定例会を終りました。

意見書を可決

関係各機関に提出

劣化ウラン弾使用事故に関する意見書

平成七年十二月から平成八年一月にかけて沖縄県の鳥島射撃場において、米海兵隊が劣化ウラン弾を誤って使用したことは、沖縄県のみならず全国の基地周辺住民、殊に横田基地を控えた福生市民に大きな不安を生じさせ、さらにその事実を一年以上経過した本年二月になって初めて市民を軽視した行為であり誠に遺憾と言わざるを得ない。

福生市民においては、横田基地における昼夜を分かたぬ航空機騒音に悩まされ、いつ発生するかわからない事故に不安な毎日を送っている。こうした状況の中で、今回のような事故が起きたことは更なる不安と怒りを覚える。

よって、福生市議会は、市民の生命、財産を守り事故の不安払拭のため次の事項を速やかに実現されるよう強く要望する。

一 劣化ウラン弾の安全性と管理体制についての情報を提供すること。

主な内容

陳情	2面
可決等された案件	3面
予算、討論	4～5面
一般質問	6～9面
委員会の審査・活動	10面

定例会の日程

▼2月	27日 議会運営委員会
▼3月	5日 会期の決定
	市長の施政方針演説
	一般質問
	議会運営委員会
6日	一般質問
	議会運営委員会
7日	一般質問
	議案審議
	議会運営委員会
11日	平成9年度一般会計予算審議
	議会運営委員会
12日	平成9年度一般会計予算審議
	議会運営委員会
13日	平成9年度一般会計予算審議
	議会運営委員会
14日	平成9年度一般会計予算審議
	建設委員会
17日	厚生委員会
18日	総務委員会
21日	議会運営委員会
26日	横田基地対策特別委員会
27日	道路交通問題対策特別委員会
28日	平成9年度一般会計予算審議
	委員会審査報告
	議案の審議等
	議会運営委員会

医療保険制度における患者一部負担の引き上げ中止を求める意見書

この改革案は健康保険本人負担を一部から二割に、七十歳以上の老人医療の外来負担を月千二百円から一回五百円



親子でお花見(南田園の多摩川さくら堤にて)

に、入院負担を一日七百十円から千円に引き上げ、外来薬剤の一種類ごとに十五円の患者負担を新設、政府管掌健康保険保険料の引き上げなど、患者の負担が大幅に増える内容である。

このような改正は受診の大幅な抑制を来し、早期受診・早期治療が妨げられることは容易に予測できる。かえって患者の重症化を招きかねないものであり、医療に直接かわる日本医師会も反対を表明している。

現在の医療保険財政の赤字の原因の一端は、国庫負担の削減と高い薬価基準にあり、これを国民に転嫁することがあつてはならない。

安心して医療を受け、健康な毎日を過ごすことのできる医療・福祉行政の充実はずべての国民の願いである。

よって、政府においては医療保険制度における患者の一部負担の引き上げを行わず、国民健康保険・政府管掌保険の国庫負担率を引き上げ、医療・福祉など社会保障の充実を図るよう強く要望する。

(内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣あて)

児童福祉法に基づく保育所措置制度の堅持・公的保育制度の充実に関する意見書

今日、女性の社会進出が拡大し、子供が生まれてからも働き続ける女性が増加していることは周知の通りである。一方、核家族化が進み、子供と家庭を取り巻く多様な分野の施策の総合的な拡充が求め

られ、住民に身近な社会福祉施設としての保育所の役割はますます重要になっている。現在、国は中央児童福祉審議会基本問題部会が平成八年十二月報告した児童福祉法見直しの中間報告をもとに、利用者保育サービスを選択できる仕組みにすることを理由として、現行の保育所措置制度を利用方式とする法改正作業を進めている。また児童福祉施設最低基準につき弾力化の方向で見直すことを表明している。

しかし、働く父母の子供の保育について国と自治体が責任を負っている措置制度を転換することは、国や自治体の公的責任が曖昧になるなど、保育施策の改善に結びつかない危惧がある。弾力化の問題についても現行の低い最低基準をなし崩しにし、保育内容の低下、保育条件の後退につながることは明らかである。このように保育における公的責任が後退する法改正によって、現行の保育措置制度と国庫負担が崩れ、自治体においても過重な財政的措置が強いられることになる。

よって、政府に対し、児童福祉法第二十四条の改正を行わず、現行の保育所措置制度の堅持・拡充を図るよう強く要望する。

(内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣あて)

障害者小規模作業所に対する国庫補助金制度の改善と充実に関する意見書

小規模作業所への国庫補助

金の引き上げ、対象の拡大、成人期の重度障害者、精神障害者対策の拡充を図ること、生活援助システムを早急に確立することを要望する。

公衆衛生行政拡充を求める意見書

保健所からの移管事業についての必要経費を将来とも東京都が責任を持つシステムを確立し、保健所が実施する事業のサービスク内容の充実、住民の利便性を確保することを要望する。

(東京都知事あて)

学校五日制に見合った「学習指導要領」の早期見直しに関する意見書

「学校五日制」実施に見合った「学習指導要領」の早期見直しをされるよう要望する。

(内閣総理大臣、文部大臣、自治大臣あて)

東京都の区市町村に対する各種補助金の一方的削減等に関する意見書

都からの各種補助金の一方的削減・廃止をせず、事務移管に際しての十分な財源保障、不要不急の事業の中止を要望する。

(東京都知事あて)

不動産登記に係わる登録免許税の抜本的見直し等に関する意見書

不動産登記の登録免許税について抜本的な見直しを行い、特に所有権移転に関する登記及び地上権・賃借権等の設定・移転の登記の税率を緊急に見直すよう要望する。

(内閣総理大臣、大蔵大臣、法務大臣、自治大臣、総務庁長官あて)

農地等の固定資産税等適正化に関する意見書

農地等に関する固定資産税や相続税等の適正化について措置を講じてほしい。

(内閣総理大臣、大蔵大臣、農林水産大臣、自治大臣あて)

消費税率の引き上げ反対に関する意見書

国民生活をより厳しくする消費税率の引き上げを行わないよう要望する。

(内閣総理大臣、大蔵大臣、自治大臣あて)

地震災害等に対する国民的保障制度を検討する審議会の設置を求める意見書

自然災害被災者に対する保障のための審議会を設置し緊急に対策を検討されるよう要望する。

(内閣総理大臣、大蔵大臣、法務大臣、総務庁長官、国土庁長官、自治大臣あて)

陳情

各委員会で審査された陳情の結果は、次のとおりです。

採択

◆陳情第七十号 学校五日制実施に見合った「学習指導要領」の早期見直しを求める陳情書

法務局出張所の統合計画等に関する意見書

法務局出張所の統合について、地域住民の声を反映す

◆陳情第八十七号 障害者小規模作業所に対する国庫補助金制度の改善と充実を求める意見書提出に関する陳情書

◆陳情第八十二号 東京都の区市町村に対する各種補助金の一方的削減に反対する陳情書

◆陳情第八十三号 住民本位の公衆衛生行政拡充を求める陳情書

◆陳情第八十三号 農地等の固定資産税等適正化に関する陳情書

◆陳情第八三十五号 不動産登記に係わる登録免許税制の抜本的見直し等に関する陳情書

◆陳情第八四十四号 法務局出張所の統廃合計画等に関する陳情書

◆陳情第八四十五号 田園通り、南田園三丁目区間に横断歩道の増設促進を求める陳情書

◆陳情第九十二号 医療保険制度における患者一部負担の引き上げ中止を求める陳情書

◆陳情第八十八号 地方自治擁護・「行政改革」に関する陳情書

◆陳情第八十二号 地域経済活性化と市民の生活向上に関する陳情書

◆陳情第八十八号 「資源の日」を不燃ごみ収集日の前日とすることを求める陳情書

◆陳情第八十六号 私立幼稚園保護者負担軽減補助の所得制限の廃止を求める陳情書

◆陳情第九十一号 成人歯科健診事業の充実を求める陳情書

◆陳情第九十号 「夫婦別性を認める民法改正に慎重を期することを求める意見書」の提出を求める陳情書

◆陳情第九十号 プラスチック製品の製造規制等を求める陳情書

◆陳情第八十号 乳幼児医療費助成制度における所得制限の撤廃を求める陳情書

◆陳情第八十六号 可燃ごみの毎日収集廃止に関する陳情書

◆陳情第八十七号 市内全ごみ収集所における資源回収実施を求める陳情書

◆陳情第八十一号 地方自治擁護・「行政改革」に関する陳情書

不採択

◆陳情第九十九号 「一％節電」に関する陳情書

継続

◆陳情第九十九号 「夫婦別性を認める民法改正に慎重を期することを求める意見書」の提出を求める陳情書

審議未了

◆陳情第八十一号 地方自治擁護・「行政改革」に関する陳情書



可決等された案件 (要旨)

一部の特別職の職員の報酬の改定と国民年金相談員及び再雇用職員の報酬の額を定めるための改正です。

◆福生市市計画税条例の一部を改正する条例
平成九年度分の固定資産税の納期の特例を定めるものです。

◆福生市都市計画税条例の一部を改正する条例
都市計画税の税率の特例を適用する年度を平成十一年度まで延長するとともに平成九年度分の納期の特例を定めるものです。

◆福生市学校給食センター運営委員会条例の一部を改正する条例
保健所の再編整備により東京都福生保健所が廃止されるので、委員の選出先を東京都福生保健所職員から東京都多摩川保健所職員に改めます。

◆福生市社会福祉法人に対する補助金の交付の手續に関する条例の一部を改正する条例
事務処理上の必要情報を的確に把握、確保するため補助金の申請手續を簡略化します。

◆福生市児童遊園条例の一部を改正する条例
武蔵野台第五児童遊園の新設です。

◆福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
先天性血液凝固因子欠乏症に薬害エイズ等を加え、

遺伝性QT延長症候群を特殊疾病に加え、また手当の支給時期を年二回から年三回に改めます。

◆福生市予防接種健康被害調査委員会条例の一部を改正する条例
保健所の再編整備により東京都福生保健所が廃止されるので、委員の選出先を東京都福生保健所職員から東京都多摩川保健所職員に改めます。

◆福生市都市公園条例の一部を改正する条例
原ヶ谷戸東公園の新設です。

◆福生市の一般職の職員の平成九年度三月期期末手当の支給割合を定める条例
支給割合を百分の五十とします。

◆福生市借上高齢者住宅条例
高齢者に配慮した民間賃貸集合住宅を福生市高齢者住宅のシルバーピア熊川として借り上げます。二人世帯用三戸と単身者用八戸と生活協力員住宅一戸です。

◆福生市保健施設条例
旧福生保健所を福生市保健センターとして設置するので、保健施設として統一的な規定を定めます。

◆平成八年度福生市一般会計補正予算(第五号)
歳入歳出予算にそれぞれ二億三千八百七十九千円を減額し、予算総額を二百二十二億四千七百八千円とします。事業実績に伴う精算と給与改定等による人件費の補正と繰越明許費及び

地方債についての補正です。平成八年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)
歳入では保険税並びに療養給付費交付金の増額と、歳出では退職者にかかわる療養給付費並びに一般被保険者の高額療養費の増額が主な原因です。

◆平成八年度福生市下水道事業会計補正予算(第二号)
下水道使用料の増と事業の執行に伴う精算、確定の見込みによる補正と地方債の変更をお願いします。

◆平成八年度福生市下水道事業会計補正予算(第一号)
下水道使用料の増と事業の執行に伴う精算、確定の見込みによる補正と地方債の変更をお願いします。

◆平成九年度福生市一般会計補正予算
内容は 四ページをご覧ください。

◆平成九年度福生市国民健康保険特別会計補正予算
内容は 四ページをご覧ください。

◆平成九年度福生市老人保健医療特別会計補正予算
内容は 四ページをご覧ください。

◆平成九年度福生市下水道事業会計補正予算
内容は 四ページをご覧ください。

◆平成九年度福生市受託水道事業会計補正予算
内容は 四ページをご覧ください。

◆財産の取得について
保健所の鉄筋コンクリート造り二階建ての建物、床面積一五四三・四一平方メートルを東京都の財産価格審議会にて認定された総価格の

三十%で東京都から取得します。

◆市道路線の認定について
フレンドシップパークの築造に伴い、周辺道路の整備が必要になったために私道を買収して市道として認定します。

◆劣化ワンダマシ使用事故に関する意見書
障害者小規模作業所に対する国庫補助金制度の改善と充実に関する意見書

◆公衆衛生行政拡充を求める意見書
医療保険制度における患者一部負担の引き上げ中止を求める意見書

◆児童福祉法に基づく保育所措置制度の堅持・公的保育制度の充実に関する意見書

◆学校五日制に見合った「学習指導要領」の早期見直しに関する意見書

◆東京都の区市町村に対する

◆地震災害等に対する国民的保障制度を検討する審議会の設置を求める意見書

◆消費税率の引き上げ反対に関する意見書

◆農地等の固定資産税等適正化に関する意見書

◆法務局出張所の統廃合計画等に関する意見書

◆消費税率の引き上げ反対に関する意見書

◆地震災害等に対する国民的保障制度を検討する審議会の設置を求める意見書

◆消費税率の引き上げ反対に関する意見書

◆農地等の固定資産税等適正化に関する意見書

◆法務局出張所の統廃合計画等に関する意見書



▲建築すすむ借上高齢者住宅(シルバーピア熊川)

議員提出議案

◆劣化ワンダマシ使用事故に関する意見書

◆障害者小規模作業所に対する国庫補助金制度の改善と充実に関する意見書

◆公衆衛生行政拡充を求める意見書

◆医療保険制度における患者一部負担の引き上げ中止を求める意見書

◆児童福祉法に基づく保育所措置制度の堅持・公的保育制度の充実に関する意見書

◆学校五日制に見合った「学習指導要領」の早期見直しに関する意見書

◆東京都の区市町村に対する

◆地震災害等に対する国民的保障制度を検討する審議会の設置を求める意見書

◆消費税率の引き上げ反対に関する意見書

◆農地等の固定資産税等適正化に関する意見書

◆法務局出張所の統廃合計画等に関する意見書

議事を傍聴しましょう

次の定例会は6月4日(水)からの予定です

お気軽にご来

本会議の傍聴はどなたでもできます。

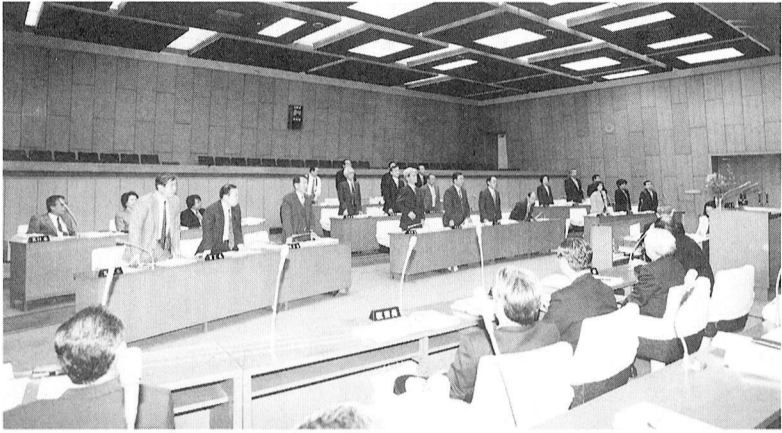
くわしくは、議会事務局にお問い合わせください。

☎51-1511 (内線 512)

「議会日誌」

19日	西多摩農業共済事務組合 議会	28日	平成9年第一回定例会 (8日目)
17日	厚生委員会	27日	道路交通問題対策特別委員会
"	福生市廃棄物減量等推進 審議会	26日	議会運営委員会
"	久居市、松本市議会視察 来市	"	瑞穂斎場組合議会
14日	西多摩地域広域行政協 議会審議会	"	農薬委員会
"	多摩地区離職対策連絡協 議会役員会	24日	都市計画道路等整備促進 要望運動
13日	青梅、羽村、福生地区都 市下水道組合議会	21日	総務委員会
12日	東京都市議会議員研修会 (7日まで)	17日	建設委員会
"	西多摩衛生組合行政視察 (7日まで)	18日	厚生委員会
6日	全国市議会議長会基地協 議会総会(7日まで)	21日	議会運営委員会
4日	三多摩上下水及び道路建 設促進協議会第3委員会	14日	平成9年第一回定例会 (6日目)
3日	三多摩上下水及び道路建 設促進協議会第2委員会	"	議会運営委員会
31日	米空母艦載機飛行訓練中 止要請行動	12日	平成9年第一回定例会 (5日目)
30日	昭島市議会視察来市	13日	議会運営委員会
29日	三多摩上下水及び道路建 設促進協議会第1委員会	11日	平成9年第一回定例会 (4日目)
26日	浜松市議会視察来市	"	議会運営委員会
"	厚生委員会	7日	平成9年第一回定例会 (3日目)
22日	三多摩地区消防運営協議 会	"	議会運営委員会
"	福生市議会臨時会	11日	平成9年第一回定例会 (2日目)
"	農業委員会	"	議会運営委員会
17日	全国市議会議長会基地協 議会役員会	1日	東京都市収益事業組合定 例会
16日	だより編集会議	27日	議会運営委員会
14日	福生市都市計画審議会	26日	西多摩衛生組合議会
13日	東京都市収益事業組合議 会臨時会	"	東城処分組合議会定例会
20日	東京都市議会議長会定例 議会	25日	農業委員会
21日	都市計画審議会	26日	東城処分組合議会定例会

平成9年度 予算の概要



▲平成9年度一般会計予算は本会議において起立多数で可決

今定例会に、平成9年度一般会計と特別会計の合わせて三百十八億七千三百四十八千円の予算が提出され、一般会計予算は本会議において審議され、また、特別会計については、建設委員会、厚生委員会において審査された結果、原案のとおり、可決されました。

一般会計の予算総額は二十九億三千五百六万円、前年度と比較し一・三%の減となっている。その主な理由は、リサイクルセンター建設事業及び第二市営住宅建設事業等がほとんど終了したことによるもの。
歳入は、市税収入や、国、都の補助金等の伸びが期待できず、起債の活用、基金の取崩しにより、対応することとなっている。歳出の主なものは、都市基盤整備として、引

各会計予算規模

(人口：9,111現在62,027人)

区分	9年度 千円	前年度比較 %	市民1人あたりの額 円
一般会計	21,935,060	-1.3	353,637
国民健康保険特別会計	3,244,357	8.5	52,306
老人保健医療特別会計	3,006,571	12.1	48,472
下水道事業会計	2,761,104	10.4	44,515
小計	30,947,092	1.8	498,930
受託水道事業会計	925,956	-3.3	14,928
計	31,873,048	1.7	513,858

き続き福生駅西口駅前通り整備事業、田園西土地地区画整理事業、公園整備として、ひふみ公園(仮称)新設事業及び牛浜駅東口公園(仮称)新設事業、住宅対策として第四市営住宅建設事業の基本設計委託料、教育施設整備として、小・中学校の内装改良事業、屋上防水改修事業、第三中学校の講堂改修除湿度保持事業、市民会館の冷暖房機改良事業及び立体駐車場建設事業、福祉施策として、引き続き高齢者在宅サービスセンター事業費として加美、武蔵野の二施設に運営委託料、福祉会館の改良事業として、設計委託料を、また、衛生・清掃施策としては、引き続きリサイクルセンター建設事業費、福生

一般会計予算の審議から

平成9年度の一般会計予算は三月十一日から十四日、及び二十八日にわたり本会議において審議されました。
ここでは、その中から、一部の質疑(要旨)を掲載しました。

基地の騒音対策予算は

問 歳入、歳出を通して全体の予算で横田基地の騒音対策がどのように予算化されているか。
答 一小、三小、一中の校舎の防音機能復旧事業、第三中学校講堂改修に伴う冷暖房

財政改革の予算編成影響額は

問 国や東京都の財政改革が進められているが、具体的な本年度の当市の予算編成にどのような影響があったか。
答 国や東京都には地方財

消費税5%の影響額は

問 消費税が5%となるが、地方自治体にも大きなマイナスになると思うが、どのような金額になってくるのか。
答 歳出の普通建設事業、物件費等で影響額は三億三百五

収納率アップの取り組みは

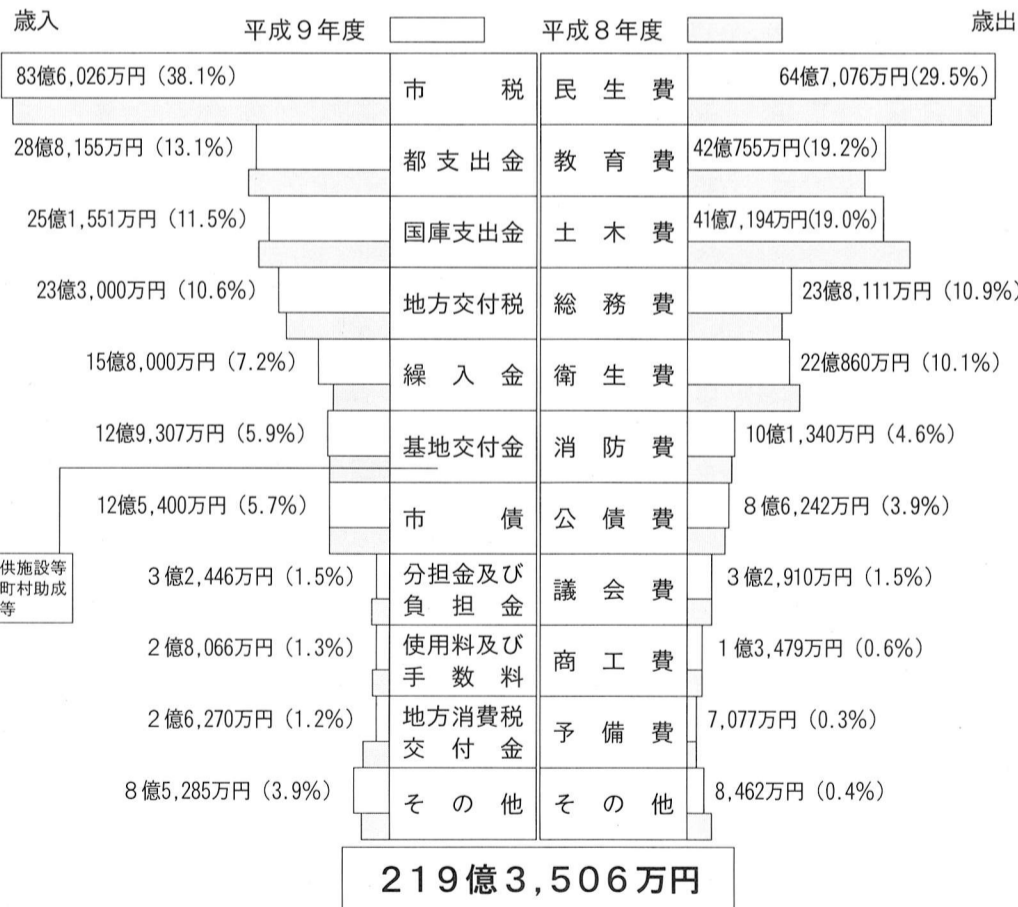
問 特別徴収が少ないのが我が市の特徴だと思いが、特別徴収と普通徴収の割合を九年度ではどのように見ているのか。また、収納率は〇・二ポイントアップした計算をしているが、取り組み方等は。
答 調定ベースで特別徴収は六十五・五%、普通徴収が三十四・五%で見込んでおり、納税義務者ベースで特別徴収が五十六・五%、普通徴収で四十三・五%を見込んでいる。また、特別強化月間を設け戸別訪問、夜間訪問などを行い滞納者との接触を進め、一括納入に向けて努力していき

牛浜駅東口公園の着工は

問 牛浜駅東口の公園新設事業の工事はいつごろ始まっているか。
答 公園の工事にあわせて道路の整備もやるので土木課との調整があるが、九年度の防衛補助事業の内示があれば九月ごろには発注ができる予定である。

海外派遣事業は今後どうするのか

問 平成九年度から平成十一年度までの実施計画書の中に成人海外派遣事業が記されていないが、今後一切中止してしまうのか。



国が提供施設等所在市町村助成交付金等

答 大興県との交流派遣は九年度は中断するので、九年度に今後の派遣先を検討する中で方向性を出してまいりたい。実施計画書には十年以降見通しが出れば方向性を出してまいりたい。

デイサービスの利用者負担額は

問 身障者と高齢者のデイサービスの利用者負担金は一人平均幾らになるか。

答 例えばデイサービスを週二日、入浴を週一回という場合には一週間当たり千九百円程度の負担で、一カ月七千六百円程度の負担となる。

緊急通報システムの状況は

問 緊急通報システムは町会が、モデルになっているところもあるようだが、その後の状況は。

今年度の申し込み状況は。答 市が主体となって社会福祉協議会に委託しているが、対象者は二十四名で、ペンダントを持っていただいている。消防署に緊急通報が入り、地域の協力が対象者のところに急行するというシステムになっており、平成九年度は五名増を見込んでいます。

観光協会設立は

問 観光協会設立についての構想は。メリットや成果がなければと思うがどうか。

答 九年度中に設立準備のための組織を検討し、現在、事務局をどこに置るか検討している。メリットや成果は考えていかなければと考えています。

町会等関係費の増額理由は

問 町会等関係費が全体的に上がっているが、その理由と内容を伺いたい。特に活性化交付金がかかりふえているのはどういふことか。

答 全体的には三百二十四万円余の減であるが、南田園二丁目設立に伴い町会広報掲示板設置工事十五カ所分、町会活動補助金、地域活性化交付金が増となっている。町会会館等運営費補助金の増は加美クラブの分である。

駅や公園のトイレ汚れひどいが

問 東福生の公園のトイレと福生駅東口、西口のトイレが汚い大変苦情が多いが、委託先であるシルバー人材センターとの契約条件を聞きたい。

答 シルバー人材センターに四十九カ所の公園のトイレの清掃を委託している。小さい公園のトイレは週一回が三十六カ所、週二回は十公園、使用の方が多いところは週四回、明神下とフレンドシップの二公園。九年度で新たに東福生の東口だけは公園が担当して、駅にあわせて週十回清掃している。

いじめ、不登校の実態と施策は

問 いじめ、不登校の最近の実態と、平成九年度予算でどのような施策を考えているか。

答 特にこれという事業はないが、いじめ問題にかかわる教育関係の講演会を実施し、いじめ問題での具体的な対応の仕方、指導のあり方について勉強、そのほかそれぞれの学校で道徳研修、授業など人間尊重教育に取り組んでいる。また民生委員、心理相談員、関連する児童相談所、指導主事等の連絡会議で情報交換とともに地域との連携プレーも継続的にしていきたい。いじめの実態は平成八年六月の時点で小学校で二件、中学校は十九件、十二月の調査で小学校は九件、中学校が十四件。不登校は平成八年二学期までは小学校を三十日以上欠席が二十三人、中学校が四十六人。

討論

今定例会八日目の二十八日、平成九年度一般会計予算を初めとする三議案に対して、賛成、反対の討論が行われ、いずれも可決されました。ここでは、その要旨を掲載しました。

平成八年度一般会計補正予算

賛成

事務事業確定による精算、給与改定による人件費補正で、歳入歳出各二億三千万円余の減額である。歳入では都補助金に一部増額はあるものの二億二千五百万円余の減額、歳出では土木費が二億六千万円余減額が大きいためである。また職員人件費減額で財源確

保ができ一億七千四百万円余を財政調整基金に積み立てたが、厳しい財政環境の中、長期的視点に立った財政運営が必要であり、本補正予算を適正と判断し賛成する。

である市税は特別減税が打ち切られ大幅な伸びが期待できず、国・都の補助金も高齢者住宅整備、防災資機材等整備事業などの増額はあったものの削減されるなど厳しい中、経常経費の抑制や職員増を押さえて対応し、限られた財源の中で高齢者在宅サービスセンター事業や身体障害者自立促進事業の充実、また福生駅西口通りの電線類地中化などに、電算委託料等管理費の年々の増額はコスト意識改革を持って行政推進することが望まれる。

また駅周辺の駐輪場有料化は時代の流れであるのに、その使用料が予算化されていないなど、行財政改革大綱がどう生かされているのか。しかし施政方針で基地のあるべき方向を示されたことは、積極的な行政執行の姿勢のあらわれとして評価する。予算執行の優先順位を再検討し、行政サービス向上の努力を期待し、賛成する。

在日米軍人・軍属に対する軽自動車税の減免措置、また消費税5%に対する市民への配慮がされていないこと、下水道使用料の値上げが検討されていること、田園西區画整理事業に多額の財政を投入しようとするなど、業者弁当販売を継続すること、多額の積立金の活用を図ろうとしないこと、全都平均から見ても高い不登校児をかかえる教育、また高齢者サービスなど近隣から見た福祉のおくれなどであり、これら予算への充実を強く求め、本予算に反対する。

高齢者患者一部負担金はこの九年度で二倍以上となり、政府はさらに医療保健制度の改善を図り、負担増をしようとしている。また本特別会計では患者一部負担金等が計上されていないなど不備な会計予算である。戦争の労苦を乗り越え、困難な時期を社会に貢献してきた高齢者いじめの政治であり、その家族に大きな負担をもたらす本特別会計予算に反対するとともに、悪法廃止と医療保健制度改善中止の申し入れをするよう市長に強く要求する。

平成九年度一般会計予算

賛成

八十三億円の市税収入は前年比二・六%増で多少明るさを感じるが、市税収入の半分を上回る四十四億円余が人件費であり、さらに増加すると思うので、長期的展望に立つた対策を考えていただきたい。また民生費が歳出全体の約三〇%を占め、衛生費、土木費等は大幅な減額で箱物行政

積立金を取り崩してバランスを取った予算編成であり、市民に信頼される執行とともに、電算委託料等管理費の年々の増額はコスト意識改革を持って行政推進することが望まれる。

また駅周辺の駐輪場有料化は時代の流れであるのに、その使用料が予算化されていないなど、行財政改革大綱がどう生かされているのか。しかし施政方針で基地のあるべき方向を示されたことは、積極的な行政執行の姿勢のあらわれとして評価する。予算執行の優先順位を再検討し、行政サービス向上の努力を期待し、賛成する。

在日米軍人・軍属に対する軽自動車税の減免措置、また消費税5%に対する市民への配慮がされていないこと、下水道使用料の値上げが検討されていること、田園西區画整理事業に多額の財政を投入しようとするなど、業者弁当販売を継続すること、多額の積立金の活用を図ろうとしないこと、全都平均から見ても高い不登校児をかかえる教育、また高齢者サービスなど近隣から見た福祉のおくれなどであり、これら予算への充実を強く求め、本予算に反対する。

飛行訓練の中止を英文で要請

1月31日、横田基地対策特別委員会では、米空母艦載機の飛行訓練中止を内閣総理大臣、防衛庁長官に、また、在日米国大使へは英文で要請しました。その英文と骨子は次のとおりです。

Concerning the above subject, we have indicated that Yokota Air Base is not a suitable flight training facility because of its location being in the densely populated area, and therefore we have repeatedly requested that flight training there should be suspended.

In spite of the above request, we were informed again by advance notice that flight training of carrier-based aircrafts would be executed.

A feeling of uneasiness of the local citizens against the noise and potential of an aircraft accident during the training period is immeasurable. It is extremely regrettable that flight training of carrier-based aircrafts has been executed in the past against our repeated requests and the local citizens' earnest desire.

It is absolutely impossible for the local citizens to admit that Yokota Air Base, which was primarily designed for an Air Force base, is likely to be used as a permanent training facility for carrier-based aircrafts.

Therefore, I strongly request all the flight training of carrier-based aircrafts should be executed at the JSDF facility on Iwojima Island which was constructed for carrier-based aircrafts training and that said training will not be executed at Yokota Air Base at all.

米空軍横田飛行場は人口密集地にあり、訓練施設としては不適当である。

周辺住民にとって訓練期間中の騒音や事故に対する不安は計りしれない。

本来、空軍飛行場である横田飛行場が艦載機訓練の施設として定着化することは、周辺住民にとってまったく納得できないことである。

訓練は、硫黄島や本来の海軍飛行場で行い、横田飛行場では一切実施しないよう強く要請する。

第一回臨時会

平成九年第一回福生市議会臨時会は、一月二十四日に開かれました。本臨時会では、福生市収入役(坂本昭氏)の選任についての議案を審議しました。その結果、賛成多数で同意されました。



一般質問

(要旨)

市政のことが聞きたい

今定例会では、十五人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり市長にいただきました。六、九面にその主な項目を掲載しましたが、紙面の関係から、すべての項目が掲載できません。くわしくは、会議録を図書館でご覧ください。なお、この一般質問者の内容は、質問議員の確認をしております。

整備計画は。

市長 実施計画の上では、下の川岸緑地の買収、整備計画は防衛補助事業として平成十一年度の計画になっていく。定期的に道路整備と合わない面があるので、今後沿道市民と「意見交換会」を実施し、調整したい。南公園との連絡歩道は建設省や都に働きかけており、快適に安全に利用できるよう清水坂南部の道路計画とあわせ検討したい。

**市民要望を取り入れ
た生涯学習の推進を**

質問 生涯学習審議会の答申後一年半経過したが、八年度内の推進計画策定目標であったので、以下について聞きたい。

①市民の学習要望等をいかに取り入れ体系化していくか。
②どのように協力体制の整備・充実をしていくか。

教育長 ①国や都の動き等、市民意識調査から読み取れるまちづくりの目標に対応した

**市民要望を取り入れ
た生涯学習の推進を**

質問 生涯学習審議会の答申後一年半経過したが、八年度内の推進計画策定目標であったので、以下について聞きたい。

①市民の学習要望等をいかに取り入れ体系化していくか。
②どのように協力体制の整備・充実をしていくか。

教育長 ①国や都の動き等、市民意識調査から読み取れるまちづくりの目標に対応した

**市民要望を取り入れ
た生涯学習の推進を**

質問 生涯学習審議会の答申後一年半経過したが、八年度内の推進計画策定目標であったので、以下について聞きたい。

①市民の学習要望等をいかに取り入れ体系化していくか。
②どのように協力体制の整備・充実をしていくか。

教育長 ①国や都の動き等、市民意識調査から読み取れるまちづくりの目標に対応した

基地問題について

遠藤洋一 議員

学習課題等からまとめ、(1)生涯学習の基礎づくりのために、(2)学習施設の整備のために、(3)人材の育成、確保のためになど九つの柱の中に施策を体系化している。

② 全庁的に取り組む推進本部体制、また市民主体の推進会議の発足、さらに市民団体の交流、育成などを考えている。

質問 ①劣化ウラン弾の沖繩での誤射や岩国基地での貯蔵等、横田基地での保存の疑問が出てくるが、危険物貯蔵など、横田基地はどのようにかかわっているのか。

②二月のNLP(夜間離着陸訓練)の通告は公式文書でなされたのか。また周辺市町連絡会議が発足して初めてのNLPへの対応はどのようにされたか。

市長 ①防衛庁、基地に出

質問 ①劣化ウラン弾の沖繩での誤射や岩国基地での貯蔵等、横田基地での保存の疑問が出てくるが、危険物貯蔵など、横田基地はどのようにかかわっているのか。

②二月のNLP(夜間離着陸訓練)の通告は公式文書でなされたのか。また周辺市町連絡会議が発足して初めてのNLPへの対応はどのようにされたか。

市長 ①防衛庁、基地に出

質問 ①劣化ウラン弾の沖繩での誤射や岩国基地での貯蔵等、横田基地での保存の疑問が出てくるが、危険物貯蔵など、横田基地はどのようにかかわっているのか。

②二月のNLP(夜間離着陸訓練)の通告は公式文書でなされたのか。また周辺市町連絡会議が発足して初めてのNLPへの対応はどのようにされたか。

市長 ①防衛庁、基地に出



▲在日米軍横田基地

基地交付金・防衛補助事業 依存型財政でよいのか

質問 合併を含む行政の

合併を含む行政の立て直しや、基地交付金、防衛補助依存型を見直し、財政運営の抜本的転換を図る必要があるのではないかと。第三次総合計画も含めた新たな方針提起をどう考えるか。

市長 防衛補助からの脱皮

を考えていく必要があるが、当面は今後の基地のあり方、将来のまちづくりなどの議論を深めていきたい。また増加する行政需要に対応し、合併も含む行政の適正規模等の研究も進めていく必要がある。

第三期総合計画や、新たな行革への取り組み、合併を含む地方分権問題等を進める中で見出していきたい。

合併を含む行政の立て直しや、基地交付金、防衛補助依存型を見直し、財政運営の抜本的転換を図る必要があるのではないかと。第三次総合計画も含めた新たな方針提起をどう考えるか。

一般質問項目

(質問順)

小嶋英男 議員

○斎場建設について
田園西土地画整理事業に伴い移転することになった場合の建設省事務所跡地に市民望望の斎場建設をできないものか

○都市基盤整備について
都市計画道路3・4・2号線(通称多摩橋通り)の拡幅、アンダーパス等の進捗状況について

○入札制度について
予算額の約半値で落札された福生市リサイクルセンターの完成間近の現在において仕様書どおりにつくられているのか

○国際交流事業について
①海外派遣事業及び市民海外派遣事業について②国際交流協会、国際交流センターの創設について③国際姉妹都市について

○観光施策の充実について
①観光資源及び施設の整備、充実について(都市景観事業、七夕まつり、桜まつり、ほたるまつり、夏祭り)②観光のシンボル施設の創設及び整備について(宇宙科学館の誘致、郷土資料芸能等)③観光協会(仮称)の設立、育成について④観光宣伝、広報について

○緑と水、市民憩いの場の保全、整備について
①自然保護と市民の憩いの場の整備について(多摩川、玉川上水、下の川、熊川分水など)②緑化基本計

○生涯学習の推進について
①生涯学習推進計画策定の進捗状況について②生涯学習の体系化について③生涯学習施策、資源の充実と資源の開発整備について④生涯学習推進体制の整備、充実について

○横田基地について
①劣化ウラン弾など危険物の貯蔵はどうなっているのか②二月のNLP(夜間離着陸)訓練について
通告文書はどうなっているのか③97年度基地交付金の状況はどうなっているのか
沖繩米軍基地移設の影響は④横田基地返還と跡地利用について

市民的合意をどう形成するか

○行財政改革について
①福生市の財政規模は適正か②基地交付金・防衛補助事業依存型の財政でよいのか

○防犯行政について
①福生警察署管内における福生市の防犯状況について②青梅線以東に駐在所、または派出所設置について
○市の組織について
ごみ問題を視点に入れての組織の見直しについて

○防犯行政について
①福生警察署管内における福生市の防犯状況について②青梅線以東に駐在所、または派出所設置について
○市の組織について
ごみ問題を視点に入れての組織の見直しについて

○防犯行政について
①福生警察署管内における福生市の防犯状況について②青梅線以東に駐在所、または派出所設置について
○市の組織について
ごみ問題を視点に入れての組織の見直しについて

○防犯行政について
①福生警察署管内における福生市の防犯状況について②青梅線以東に駐在所、または派出所設置について
○市の組織について
ごみ問題を視点に入れての組織の見直しについて

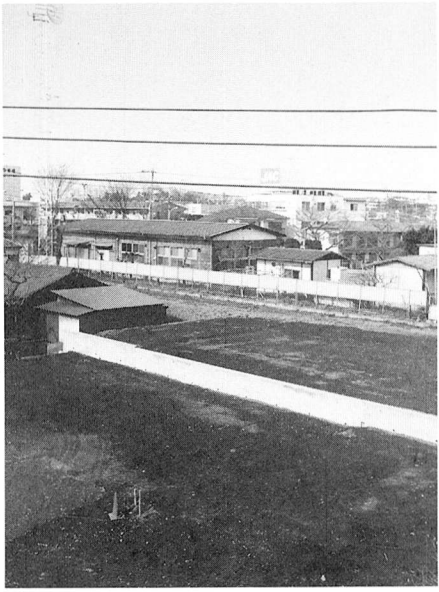
○防犯行政について
①福生警察署管内における福生市の防犯状況について②青梅線以東に駐在所、または派出所設置について
○市の組織について
ごみ問題を視点に入れての組織の見直しについて

市民望望の斎場建設を

小嶋英男 議員

質問 核家族化や少子化により斎場での葬儀が多く、経費の面でも公営斎場が望まれるが、田園西土地画整理事業により移転する建設省京浜工事事務所の跡地とか、また市の保留地等に建設はできないか。

市長 斎場建設は周囲への影響がない広い敷地の確保がていきたい。



▲区画整理中の田園西地区

リサイクルセンターの でき上りはどうか

質問 指名競争入札から技術提案型指名競争入札で行われた、リサイクルセンター、また、制限付一般競争入札で

行われた、中央排水路H-8工事など予算額の半値で工事が落札され、不安視されたが、リサイクルセンターは発注仕様書どおりの仕上がりなのか、検査結果と見解はどうか。

市長 発注仕様書に基づき施工業者から実施設計が出さ

下の川緑地の保全と 連絡歩道の設置を

吉沢嘉翁 議員

質問 下の川暗渠上の清水坂南部の道路を遊歩道化してほしい。

またその南端の五小裏から南公園への連絡路を設置し、陸橋通りと田園通りの交差点を渡る通学路の迂回路にしてほしいという要望があるが、今後の



▲清水坂南の下の川暗渠

れ、市が求める性能条件を満たしていることを確認後、工事に入っており、その後も都の検査基準及び関係法令に基づきチェックを行っており、中央排水路工事も含め仕様書、

設計書どおりの仕上がりである。入札の透明性等、国の指導もあり、このような入札制度を採用したが、競争性も高まり、効果も見られており、当面はこの入札制度を続けたい。

設計書どおりの仕上がりである。入札の透明性等、国の指導もあり、このような入札制度を採用したが、競争性も高まり、効果も見られており、当面はこの入札制度を続けたい。

設計書どおりの仕上がりである。入札の透明性等、国の指導もあり、このような入札制度を採用したが、競争性も高まり、効果も見られており、当面はこの入札制度を続けたい。

八高線架道橋かさ上げの その後の経過は

赤星行人 議員

質問 五丁橋からわらつけ街道のJR八高線架道橋かさ上げについて、平成八年第四回定例会で質問し、JR東京工務事務所が今後所管の窓口として対応するという公文書が市長あてに届いているとの答弁であったが、その後の経過はどうか。

市長 JRの計画では民有地は平成十年度末に買収を完了したいとのことであり、市としては時期を逃さずに理想に近い構造で改良できるように、ここで計画協議文書をJR東京工務事務所に提出したが、一日も早く具体化するよう努力していきたい。



▲せまい五丁橋の通り

青梅線以東に駐在所 の設置を

質問 福生警察署管内に駐在所が四カ所、交番が三カ所あるが、青梅線以東は十六号線に面し第二ゲート前に横田交番が一つあるだけだ。人口増加、外人の来訪等人の流れも変わってきており、お巡り

さんの常駐が望まれる地域だが、市長の見解は。

市長 青梅線以東は人口の増加、外国人の訪問等、また犯罪の増加などから駐在所、交番の必要性は十分認識しており、適正配置が望まれる。現在、福生警察署も管内に要望していると聞いているので、市としても福生警察署、公安委員会、都関係機関等に強く要望していきたい。

福生駅南側踏切の 歩道拡幅と安全対策を

田村正秋 議員

質問 福生駅南側踏切は朝晩のラッシュ時には歩行者が線路内を通行しているなど、

大変危険な場所である。拡幅工事着工はどのようなになっているのか、今までの経過と

今後の見通しを伺いたい。
市長 踏切を挟み前後の道路は土地所有者等のご協力をいただき拡幅されたが、肝心の踏切部分の拡幅が進んでいない要因は、JRは踏切を今後できるだけなくしたいというのが根底にあり、都とJRとの



▲拡幅が望まれる福生駅南側踏切(中新道踏切)

心身・重度障害者の 緊急一時保護対策の充実を

質問 福生学園で開始される心身障害者対象の緊急一時保護の内容はどんなものか。重度障害者の緊急一時保護は、昭島市では東京小児病院のベッドを単独で確保したと聞くが、当市としてベッドの確保はどうか。

市長 都が実施する心身障害者緊急一時保護事業で、九年度から都が福生学園に確保したベッドのうちの一つが割り当てられる見込みである。重度の身体障害者の一時保護に対応できる施設等が限られており、ベッド数も少なく苦慮しているが、今後市独自の確保や、近隣自治体との共同確保などの方策を考えていく必要がある、財政状況や利用実態を考慮しながら一層の充実に努めたい。

銀座通りの整備状況は

野口秀世 議員

質問 景気の低迷や郊外型の大型店の出店等で、近隣に比べて福生市の商店街は落ち込んでおり、打開策で銀座通りの整備が行われるが、ぜひグレードの高いものにしていただきたい。街路灯の設置、側溝の蓋かけも含めた道路の整備状況を伺いたい。

市長 装飾街路灯は現在の丸型を四角垂にし、三灯式を五十基設置し、銀座通り入口にアーチを設置しようとするものである。道路の整備については三商栄会と協議し、幅員六メートルで中央の車道は三メートルのカラー舗装とし、両サイドに一・五メートルの



▲銀座通り

歩道を設置して、インターロッキング施工を予定している。また歩車道の境に雨水管を埋設し、既存の側溝も有効に機能させて雨水対策にも万全を期してまいりたい。

商店街振興の補助金の 配分状況と増額は

質問 現在市では百万円を商工会を通して各商栄会に配分しており、一商店街当たり八万円弱になると思うが、配分状況、使い道、増額についての考え方を伺いたい。

余裕教室の活用や 通学路の安全対策は

石川和夫 議員

質問 ①余裕教室の活用が課題となっているが、現在の教室数とその活用は。②五小、三中の通学路の安全確保にPTAの方がバリエードの設置、

十六、中学校全体で十二教室撤去を行っているが、シルバール材センターに委託できないか。

教育長 ①小学校全体で二



▲五小の愛鳥室

○JR八高線について
①新設駅の進捗状況について(拜島駅)東福生駅中間)②五丁橋わらつけ街道架道橋かさ上げのその後の経過について

田村正秋 議員

○交通安全対策について
福生駅南側踏切の歩道の拡幅と安全対策について
○ごみ対策について
今後におけるごみ収集有料化の考え方について
○福祉行政について

心身障害者、重度障害者の緊急一時保護事業について

仲村清信 議員

○防災対策について
聴覚障害者対応のファックス連絡網等の充実について
○商業振興施策について
①銀座通りの整備について
②七夕まつりについて(飾り付けの充実について、テナントの貸し出しについて)
③商店街振興のための補助金について

野口秀世 議員

○都市基盤の整備について
①福生駅南側(中新道踏切)の拡幅について②福生一中東側(市道16号線)八高線踏切の拡幅について

石川和夫 議員

○福祉行政について
①重度の障害者の福祉について、②ボランティアに対する考え方について
○ゴミ行政について
①粗大ごみ等シール制導入後の状況について②谷戸沢処分場の現状について
○教育行政について
①余裕教室の活用について
②通学路の安全対策について

児島兵衛 議員

○都市基盤整備について

沼崎満子 議員

○学校教育について
①福祉教育指定校の実

①都市計画道路3・4・3の2号線(睦橋通り)拡幅事業の経過と進捗状況について②都市計画道路3・4・10号線(国道16号線)の都市計画変更についての経過と進捗状況について
○福祉事業について
①福祉センターのOHP機器購入について②手話通訳奉仕員養成事業について
○宇宙科学館について
宇宙科学館建設の進捗状況について

○ごみ・廃棄物問題について

①ごみ収集はいつまでも無料で実施できるのか②最近ごみ収集の有料化、シール制を取り入れるところが増加してきているが、市の対応は③リサイクルモデル事業をスタートさせた市が増加してきているが市の対応は④ごみの排出抑制の要綱づくり等について市の対応は⑤ごみ(可燃・不燃)収集の経費の算定はどのようにになっているのか⑥ごみ処理に必要とする今後の債務負担に対する財政計画はどのように立てていくのか

○学校教育問題について
①平成9年度使用の福生市公立学校教科用図書はどのようにして採択されたのか②平成9年度に使用する市立中学校教科用図書(歴史的分野・公民的分野)の社会問題となっている記述についてどのような調査・研究をされたのか③中学校指定制服について保護者負担の軽減策はどのようにされたか

沼崎満子 議員

○学校教育について
①福祉教育指定校の実

沼崎満子 議員

○学校教育について
①福祉教育指定校の実

である。現在は一時転用の形で特別教室、各種相談室などに利用しているが、今後は多目的教室、ランチルーム、災害備蓄庫などの恒久的転用も検討していきたい。②他の小学校区ではスクールゾーン管理を地元PTAが行っている地域もあるので、それらの実態も調査して検討してまいりたい。

重度障害者福祉、ボランティアの考え方は

質問 ①重度心身障害者の入所施設、在宅介護支援センター、緊急一時保護施設の設

置が必要だと思うが、考え方を伺いたい。②市でもボランティアスクール、介護講座を開催しているが、講座終了後の活動の場、活用、各団体との連携について伺いたい。

市長 ①入所施設、在宅介護支援センターについては今後の地域福祉計画の中で検討し、緊急一時保護施設については財政状況や利用実態を考慮しながら一層の充実に努めてまいりたい。②ボランティアセンターが中心となってボランティア間の調整、連携を図ることが基本であり、社会福祉協議会への支援、援助に努めてまいりたい。

福祉行政について

児島兵衛 議員

質問 ①福祉センターのHPはカットされたシートを差し替えるタイプの固定設置で、研修室でサークルの方々が利用する場合は公民館から借りて利用している状況だが、ロール状の移動できる機器の購入をお願いしたいがどうか。

②手話通訳奉仕員として十名の方に登録いただき、年間四十件ほどの派遣実績があるが、派遣回数も多くなく、養成の経費や方法に課題もあり、今後検討したい。



▲手話講習会のようす

宇宙科学館建設の進捗状況は

質問 平成四年に計画決定、九年に完成という予定だったが、都の財政状況等で大変遅

れているが、最近の都の動きについて伺いたい。

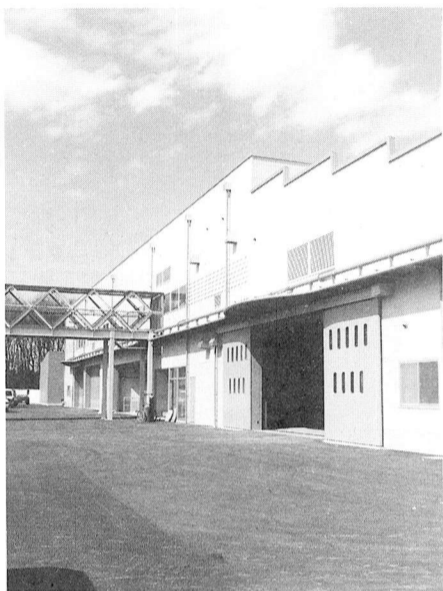
ごみ・廃棄物問題について

仲村清信 議員

質問 ①ごみ収集はいつまでも無料で実施できるのか。

②ごみ収集の有料化やシール制を取り入れる市が増えているが、市の対応は。③リサイクルモデル事業をスタートさせた市が増えてきたが、市の対応は。④ごみの排出抑制要綱等について市の対応は。⑤ごみ収集の経費の算定は。⑥ごみ処理に必要な今後の債務負担に対する財政計画は。

市長 ①減量推進のために



▲新しいリサイクルセンター

学校教育問題について

質問 ①平成九年度使用公立学校教科用図書の採択は。

②平成九年度使用公立中学校教科用図書の採択は。③中学校指定制服の保護者負担の軽減は。

教育長 ①中学校教科用図書選定協議会を設置して調査研究し、教育委員会で最終決定した。②歴史に対する認識や表現は国の検定で行うもので、市は検定を通過した教科

書の範囲で選定している。し、保護者が自由に選択している。③市の内外の三業者を指定

福祉教育指定校の実態と教育委員会のあり方について

沼崎満子 議員

質問 ①人間愛や思いやりの心を育てる福祉教育は教育そのものだと思うが、学校教育全体の問題として取り組む必要性を痛感するが、福祉教育指定校の実態は。②教育委員会として福祉教育のあり方を伺いたい。



▲児童館で工作コーナーの手伝いをするボランティア

教育長 ①第三中学校がボランティア教育活動推進教育研究校となっており、老人ホームの定期訪問、体育祭などの招待、敬老の日の励ましの手紙などを実施している。また第五小学校と第一中学校がボランティア活動普及事業協力校として活動している。

骨粗しょう症予防対策の対象年齢を拡大する考えは

質問 市民の要望が高い骨密度測定の対象年齢を五十九歳から六十五歳までに拡大する考えは。

市長 八年度は骨密度測定を二十歳から五十九歳までの女性二百人を対象に実施したが、その後医師会との協議の中で対象者、対象年齢の拡大の意見をいただき、九年度は三百人を対象に、対象年齢も二十歳から六十五歳まで拡大して実施する計画である。

歩行者の安全確保のためにガードレールの設置を

原 敏子 議員

質問 通称法務局通りの武蔵野台地区には福生地域体育館、武蔵野台児童館・図書館があり、早急にガードレール



▲望まれるガードレール設置

市長 この地区は道路幅員が大部分七メートルで、ガードレールを設置すると大型車

態について②市の教育委員会としてのあり方の考えについて
○骨粗鬆症予防対策について
① 市では平成八年度より実施しているが、都保健所の移管に伴う検診についてどう対応する考えか②現行対象年齢の59歳を65歳まで拡大する考えについて
原 敏子 議員
○医療保険制度について
①法改正に伴う市への影響について②高齢者・乳幼児への医療費助成について
○保育行政について
○交通安全対策について
歩行者の安全確保のためにガードレール設置について
大野悦子 議員
○福祉行政について
①福祉センターにおける活動状況について②福生市としての今後のボランティア活動の方向について
久保田教枝 議員
○砂場の管理状況等について
○市内の全砂場に対する九年度の大腸菌検査の実施について②殺菌処理のPRの方法について
○福祉施策の充実について
乳幼児医療費の無料化助成制度について
今林昌茂 議員
○横田基地について
①横田基地に駐留する軍の規模等の内容について
②飛行訓練等における事故発生時の対応について
松山 清 議員
○「行財政改革」について
住民負担の増加を進めるのではなく、ムダを省く「行革」を進めることについて
○横田基地について
①夜間離着陸訓練についてどのように対応してきたのか②横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会の活動について
○中学校給食について
注文数の極めて少ない業者弁当販売ではなく、中学校給食実施に向けた取り組みをすることについて

の走行に支障をきたすため、現在は両側に外側線を引き、対応しているが、今後、カラー舗装するなどしていききたい。道路を拡幅できればよいが、米軍住宅、八高線の踏切もあり、今後民有地の買収等も検討する中で機会をみて防衛施設庁に打診したい。

医療保険制度改正の影響と高齢者乳幼児医療費助成は

①医療保険制度改正により重症患者がふえ、高額医療患者が増加し、医療費の増大が考えられるが、見解は。

福祉センターにおける活動状況は

大野悦子 議員

質問 福祉センターがオープンして多数の方が利用されているが、現在までの活動状況、利用状況を伺いたい。
市長 ①高齢者や障害者のデイサービス事業、さまざまな福祉活動、福生ボランティアセンターのもとの多様な



▲多くの方に利用されている福祉センター

今後のボランティア活動の方向は

質問 中央である福祉センターでの企画にかかわり、そのネットワークを自分の地域に持ち帰り活動することが小地域ボランティアづくりの基礎となると思うが、福祉センターで行われた今までの基礎づくりを踏まえ、今後の活動

質問 中央である福祉センターでの企画にかかわり、そのネットワークを自分の地域に持ち帰り活動することが小地域ボランティアづくりの基礎となると思うが、福祉センターで行われた今までの基礎づくりを踏まえ、今後の活動

砂場の管理状況等について

久保田数枝 議員

質問 ①市内すべての砂場に対する九年度の大腸菌検査の結果を伺いたい。
②砂場の殺菌処理のPRの方法について伺いたい。

市長 ①大腸菌は熱に弱いことから、定期的な砂を攪拌し、ガスバーナーで焼いて殺菌しているが、八年度には富士見公園ほか三方所で実施している。結果は最高値の公園で一グラム中三四〇個、回虫卵はゼロで、非常に少ない状況である。九年度は梅雨時に実施する予定である。
②砂場で職員が直接説明しているが、市の広報などでPRし、引き続き管理を徹底させたいと考えている。



▲定期的実施している大腸菌の殺菌作業

乳幼児医療費の無料化助成制度について

質問 都では三歳児までの医療費無料化を実施している

質問 都では三歳児までの医療費無料化を実施しているが、この制度は所得制限があり、所得が少しでもオーバーすると該当しないとの声があるが、所得制限があるのでよい制度であっても恩恵を受けられない。所得制限の撤廃と未就学児までの対象年齢の拡

大の考え方を伺いたい。

市長 本制度の対象者は児童手当法に定めてある年齢及び所得制限と同様で、東京都の制度に準じて平成六年一月から実施しているもので、当市においては東京都に準拠して実施してまいりたいと考えているので御理解いただきたい。

基地駐留軍の規模は今林昌茂 議員

今林昌茂 議員

質問 横田基地に駐留する米軍軍人・軍属の人員、家族数などの規模と部隊の役割、任務など横田基地の概要について伺いたい。

市長 本土最大の米軍基地、在日米軍司令部及び第五空軍司令部が置かれる極東における主要基地である。また第三七四空輸航空団を初め気象中隊、太平洋通信師団等が常駐、



▲本土最大の米軍横田基地

飛行訓練における事故発生時の危機管理は

質問 ロシア船による重油流出事故等、行政の危機管理のなさが最近問題になっている。基地を抱える当市にとり飛行訓練時の事故発生の場合の対応方を伺いたい。

市長 「米軍及び自衛隊飛行場周辺航空事故等連絡会議」が関係区域内にある二十市町等三十二機関で組織され、毎年連絡会議を開催している。また「米軍及び自衛隊飛行場周辺航空事故等に関する緊急措置要綱」により緊急連絡、救援、現場対策等必要な事項を定めており、各関係機関相互の緊急連絡、救援活動等が円滑に実施できるよう連携を深めていきたい。

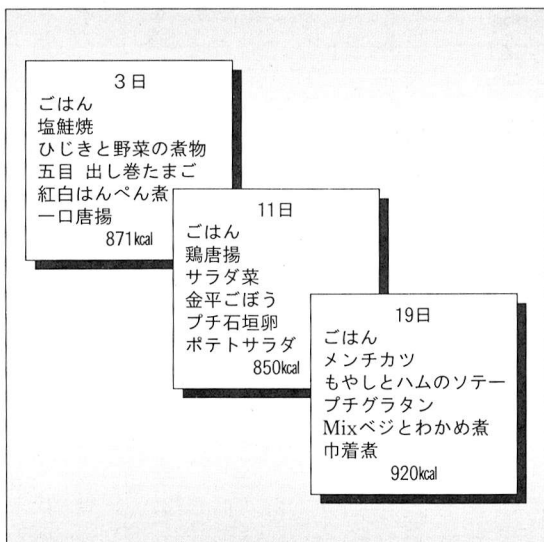
注文少ない業者弁当 その原因は

松山 清 議員

質問 業者弁当販売は当初の見込みを大きく割り、一日当たり二十個ぐらいいである、その原因はどこにあるのか。パート職員配置の公費支出の責任はどう感じているか。また中学校給食の実施に向け準備に入るべきと思うが、今後の方針はどうか。
教育長 注文数は平均三校で約二十食で実施当初に比べ半分になっており、家庭から持参する弁当を一番望んでいられると思われ、注文方法、単品メニューの問題があると考えられる。また公費支出の責任については、衛生管理のための配置であり、数の問題ではない。デリバリー事業は結果を見ながら今後十分考えていくが、現段階では中学校給食に向けて準備に入る考えは持っていない。

住民負担増でなくむだを省く行革を

質問 市は住民負担強化の行革を進めようとしているが、それは住民が望む行革ではない。具体的にどのような方向で取り組むのか。
市長 平成九年度での取り組みは市民海外派遣事業の中



▲デリバリーランチメニューの一部

断、都市景観事業の見直し、需用費・旅費等事務費の減額、食糧費・交際費の削減などで約一億一千五百万円を予定している。また行政全般にわたる改革は行政改革大綱で定め、その推進状況は毎年「行政改革推進委員会」に報告している。市民サービスの著しい低下は避けなければならないが、市民みずから果たすべき役割は担っていただくことが大切かと思う。

三常任委員会の審査から

今定例会では、常任委員会に二十一議案と陳情十二件が付託され、また継続となっていた陳情十五件を合わせ、三月十七日、十八日、二十一日の三日間、建設・厚生・総務の順で行われました。

ここでは、各委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

厚生委員会

厚生委員会は三月十八日午前十時から開催、福生保健所等の視察後、条例関係七件、予算関係四件、財産の取得一件、陳情書十五件の審査を行いました。

◎福生市借上高齢者住宅条例
高齢者に配慮した民間住宅を高齢者住宅として市で借り上げて高齢者に提供するための条例で、委員の質問に対する説明として、入居対象者の収入がなくても資格はあり、六十五歳以上で配偶者は五十七歳以上の年齢とした。保証金は家賃の二カ月分、設置者の負担も考慮し、礼金相当分を市から支払う。二人用住宅に入居後一人になった場合は当人と相談し、単身用が空いていけば移っていたかどうかを、使用期間は三年とし、募集戸数に申し込み者が達しない等の理由があるときは抽選はしない方法でいく。収入報告は年一回していたが、このような説明があり、原案どおり可決しました。

◎財産の取得について
都の保健所再編整備に伴い、福生保健所が廃止されるのでこの施設を保健センターとして市で活用するため、都から約一億一千万円で取得しようとするものです。委員からの

総務委員会

質問に対する説明としまして、実際に使用できるのは、法的には三月三十一日までは都の施設であり、本案可決後に本契約となる。この施設を母子保健を中心として実施していきたいが、目的を定めて建設されたものではないので一面利用しにくい面がある。施設を改修する場合はできるだけ早く方針を出したいと思う。このような説明があり、原案どおり可決しました。

建設委員会

建設委員会は、三月十七日午前十時から開催し、現地視察の後、付託された条例関係一件、予算関係四件、道路認定一件、陳情一件の審査を行いました。

◎平成八年度福生市一般会計補正予算(第五号)
委員会に付託された所管分について、委員からの質問に対する説明として、福生駅東口開発に係る資料作成委託料の減額は、都市計画決定に向けて権利関係や商業計画等について協議をしており、個別の権利関係について問題も

出しており調整をしている。また準備組合の案について、関係者の合意形成が整うことが重要であり、種地をもって住宅供給公社も権利者の合意形成に向け懸命に努力している。

西口の駅前通りの拡幅整備も、一部買収交渉が進んでない所があり、都の交付金の関係もあるので早期円満解決に向け努力したい。

仮称宇宙科学館用地は平成八年に都に売却したが、約五億一千六百九十八万円の不足が生じている。これには都の振興交付金で利子も含めみてくれるよう要望している。このような説明があり、原案どおり可決しました。

◎平成九年度福生市下水道事業会計予算
この予算額は、総額二十七億六千九百四十万円で、委員の質問に対する説明として、水洗化の普及は平成七年度末で五百四十二棟あり、本年二月末で六十五棟が水洗化した。九年度も五十棟位水洗化するよう努力したい。基地の使用料は大口で入ってくるようになったが、割合からすると全体で約八億六千九百万円の内地分が約三億八千八百万円、四十五%となっている。消費税五%の関係は十月から料金の見直しを予定しており、四月から九月までの千百万円を計上している。なお工事費等は五%みている。

◎財産の取得について
都の保健所再編整備に伴い、福生保健所が廃止されるのでこの施設を保健センターとして市で活用するため、都から約一億一千万円で取得しようとするものです。委員からの

特別委員会活動から

横田基地対策特別委員会

三月二十六日午後二時から開催し、平成九年度の防衛補助事業など七件について協議しました。

◎平成九年度防衛補助事業実施予定箇所について
道路関係では、市道幹線二一九号線(法務局通り)の舗装補修工事を三年計画で実施しようとするもので、延長千七百七十七m幅員七m、全体の事業費が一億三千七百六十六万一千円です。

仮称牛浜駅東口公園の新設事業で、用地三百十九坪を買収するもので、設計費や工事費を含め総事業費が約三億二千八百六十四万円となっています。

第二分団の消防ポンプ自動車を一千八百三十二万八千円で設置しようとするものです。一、三小、一中、かえで会館、市民会館の防音機能復旧事業、三中の講堂改修事業、仮称福東会館の新設事業等が予定されています。

市道一〇四八号線(牛浜駅前)を二年計画で延長五十mを整備するもので、事業費は二億二千六百五十二万五千円

道路交通問題対策特別委員会

十二月の委員会において、当市の都市計画道路等の整備促進を都に要請することになった。

三月二十四日に長年懸案となっていた陸橋通り外五路線について、副議長、正副委員長で西多摩建設事務所に参加強く促進方を要請をし、また二十七日には委員会を開催、要請の経過報告を委員長から行った後懸案路線について協議をいたしました結果、今後事業促進を都に要請していくことといたしました。

なお、奥多摩街道の整備に関連し、右折レーン設置のための「すいすいプラン100」事業について福生市では宮本橋周辺、新橋周辺、牛浜交差点周辺、牛浜郵便局周辺の四箇所が計画されているが、このうち牛浜交差点周辺、牛浜郵便局周辺については三月十日に沿道関係者への説明会があり、その内容報告がありました。

「議会運営委員会」

九名の委員で構成し、おおむね二つの仕事をしています。

一つ目は、議会の日程や進め方、内部の諸問題を協議します。

本会議の開催前に集まり、議会の日程、議案や陳情を審議する順序、委員会への付託、即決等を決めます。それをうけて議長が議事をすすめていきます。

二つ目は、定



▲議会の日程等を協議する議会運営委員会委員

最終日に、紙面全体のレイアウト、メインとなる見出し、写真の位置等を決めます。「ゲラ刷り」の段階で内容を検討し、委員全員で調整をします。

一般質問は、すべてを掲載できないので、一人二問程度を要約し、どの議員の質問がわかるように、名前も載せるようにしました。

なお、委員の任期は二年です。少しでも読みやすい紙面づくりにと努力してまいりました。ご意見等お寄せいただけましたら幸いです。

◇編集委員(議席順)
山下 進、原 敏子、遠藤 洋一、吉沢嘉翁、田村正秋、小野沢久、東田正治、赤星 行人、仲村清信